

 いわみざわ公園バラ園 www.iwamizawa-park.com



満開の薔薇に 出会えていますか？

昨年春先にかけて、近年経験しなかった厳しい寒波に見舞われた岩見沢。市の花として親しまれている花の女王、バラが冬囲いをしていたのにも関わらず凍害に見舞われ、「枝が真っ黒になった」「黒くなった枝はいつ緑になるのか」など心配と不安の相談が沢山寄せられました。バラに向き合うお話に耳を傾け、うなずきながら、何とか復活出来る方向性

を探し出しお話をさせて頂きました。あれから2ヶ月、無事に育ち大きく花開くバラの花に癒されているのでしょうか？バラ園のバラ達も逆境を乗り越え美しい姿を見せてくれています。ローズフェスタ開催期間の満開のバラの様子を見学にお出かけ下さい。(たかはし)

作物の成長

近所の家庭菜園を見るとすくすくと育っているのに、我が家のは…成長が遅れていると言う質問が多いのです。畑作は土作りが大切です。作る作物により、酸性土を好むかアルカリ土を好む植物かによっても、成長度が変わります。肥料の窒素・リン酸・カリ分の割合も違います。また、畑を耕す際の耕す深さが浅いと、固い土に根の張りが阻害されて成長が遅れます。作業は畑の乾いた時に行い、雨降り中、雨上がりには絶対畑に入らないことです。勿論収穫する時です。(ながやす)

草取りをしている時、雑草を観察するのが好きです。例えば、たんぽぽ。人に踏まれ乾き気味の場所では小さいからだで花を咲かせ、花壇の中では植わっている園芸植物と競うように巨大になって花をつけます。私はタンポポのからだに刻み込まれた生きる戦略に感心してしまいます。人にとって雑草でも、気ままに生える植物達は一番身近にある自然です。それらを観察していると、長い進化の過程でたまたま人間になってしまった私たちの生き方のヒントさえも見つかるような気がします。大げさかなあ。(きのした)

しばらく前にツルに丸いかわいい実がついた植物の名前を教えてほしいという相談がありました。本州の実家でとってきたということで、調べてみるとなんとヘクソカズラ！すごい名前です。乾燥したものに匂いは感じなかったのですが花や葉を揉むと悪臭がするそうです。古くは万葉集にくそかずらと詠まれておりいつのころからかさらに“へ”がついたとか。別名はヤイトバナ(ヤイトはお灸のこと、赤紫の花の中央の色がお灸の跡に似るところから)どちらにしても何だかかわいそうな名前。北海道では渡島半島に自生し道央以北にはないそうです。札幌百合が原公園で植栽した樹木についてきたヘクソカズラが見られます。(いとう)

植物受難の年

今年の岩見沢は極端に雪が少なく、厳しい寒さもあり、今まで大丈夫だった植物が枯れるなど被害が続出しました。特に耐寒性の乏しい外来種、園芸品種は被害がひどく、郷土の植物は被害は少なかったようです。

長い「歴史」が育ててきたといっても過言ではないのかもしれませんがね。(かわはら)

バラ園

♪ 満開 ♪

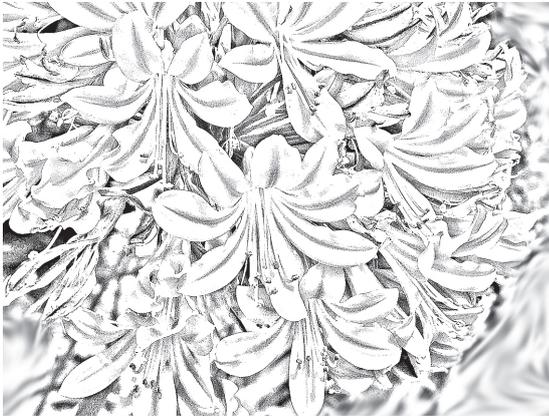
約 630 品種が一堂に会するのは今の時期だけ。秋花の時期は 400 品種程度になります。一番花の見ごろは中旬ごろまでですが、なかには超遅咲きののんびり屋さんもいて、20 日過ぎごろから咲く品種もあつたり・・・なんだかんだで結構長く楽しめます！



7月の開花情報



室内公園 色彩館



アガパンthus ‘ロッテルダム’

Agapanthus cv. Rotterdam
ムラサキクンシラン科 ムラサキクンシラン属
パープル色が暑い夏に爽やかさを添えます。



アベリア

Abelia x grandiflora
スイカズラ科ツクバネウツギ属
別名「ハナツクバネウツギ（衝羽根空木)」。萼片がプロペラみたい。辺りに良い香りが漂います。

【知恵袋】「いずれがアヤメかカキツバタ」
更に似たものでハナショウブがありますが、
見分けはつきますか？

まず、生育している場所に注目すると・・・

アヤメ → 草地に生殖して、5月頃花が咲き、花弁に網目の模様

カキツバタ → 湿地・水中に生殖して、5月中旬に花が咲き、
花弁に白い模様

ハナショウブ → 湿地に生殖し、6月中旬に花が咲き、花弁の中央に黄色

更に、5月の節句にお風呂に入れて、子供たちの健康な成長を願う「ショウブ」は湿地帯に群生しています。花はガマの穂のような形で花のように見えませんが、黄緑色の小花が密集して咲き、独特な香りがある花です。アヤメ・カキツバタ・ハナショウブはいずれもアヤメ科アヤメ属ですが、ショウブはサトイモ科ショウブ属です。現在の分類では、アヤメ科アヤメ属になっていることもあり、その経緯ははっきりしていないようです。

チョット
いっぷく



ひとつき
ひとバラ



文：田中 伸枝
(いわみざわ公園バラ園)



第四十一回

ハイブリッドティーローズ

アストリット グレーフィン フォン ハルデンベルク

Astrid Gräfin von Hardenberg

作出国：ドイツ

作出者：Tantau

作出年：2001年

ハーディネスゾーン：Z6

繰り返し咲き性

交配：不明

ある日、ふと、思ったのです。
『バラ園で一番長い名前のって何だろう？』
ということで今月は当園で一番長～い名前のバラをご紹介します！

蕾は黒色に近く、咲き進むにつれ赤紫色からローズレッドへと変化していき、花の中心から外側への微かなグラデーションが美しいバラです。花径7～10cmと大輪ハイブリッドティー系ながら、丸弁ロゼット咲きのアンティークな花容、花卉がしっかりとしているので花保ちが良いです。2002年のローマ国際コンクールで芳香種部門金賞を受賞したほどの、フルーティなダマスク系の濃厚で豊かな香りがあります。花容といい香りといい、オールドローズのような雰囲気も持ち合わせています。また、グレー掛かった緑色でほどよく艶のあるシックな葉が、花をよく引き立ててくれます。樹高は1.0～1.5mほどで樹形は横張り、割とコンパクトで日向を好むので、雰囲気のある鉢に植えて、庭先のウェルカムローズとして飾るのも素敵かもしれませんね♪当園ではメインとなる整形式ローズガーデンで栽培しています。是非ご覧いただき、香りも楽しんでいただきたいと思います。

なぜ、こんな長～い名前が付いたのか？
気になるところですよね。名前はドイツ語

で、直訳すると『ハルデンベルグ伯爵夫人アストリット女史』です。要するに人名に由来しています。彼女は父親であるカール＝ハンスの名を冠した財団を創設、ドイツ東部の街オーダーラント郡をはじめ、国境を越え隣接するポーランドまでに及ぶ近隣地域の青少年の教育や社会参加の推進に尽力された活動家です。きっとこのバラのように、高貴で気品漂う素敵な女性なのでしょうね。そんな彼女の名誉を称え、「アスピリンローズ」などで有名なドイツの育種会社タントウが品種名として名付けたのです。本当は「アストリットローズ」とかにしても良いのだろうけれど、正式名を採用して長～い名前になったのも彼女への敬意の表れでしょう。ちなみにフランスでは、このバラは別名でヌイドゥシン (Nuit de Chine 意味：中国の夜) と、随分シンプルな名前と呼ばれているようです。なんだか、分かるような、分からないような… (笑)

バラの品種数はとても多く、3万～10万、もしくはそれ以上とも言われています。名前も日本語はもちろん、英語・フランス語・ドイツ語など多彩で覚えるのも大変ですね。アストリット グレーフィン フォン ハルデンベルグ。名前だけでもおぼえて帰って、みんなに自慢してみてください。

夏季 バラ園開門時間のご案内

6/10 (土) ~ 7/ 9 (日) 9:00 ~ 19:00

7/10 (月) ~ 8/16 (水) 9:00 ~ 18:00

その他 イベント等のため 上記時間外に開放の場合あり

※ 屋外トイレおよび旧緑のセンターは 17:00 に閉場します。
お手洗いをご利用の場合は、室内公園 色彩館をご利用ください。
室内公園 (温室) は 17:00 で閉園いたします。

7月の市民園芸講座のご案内

これは面白い!



●7月9日(日) 10:00~12:00

バラ管理スタッフのローズツアー~ようこそ誇り高き北国のバラ園へ

料金: 無料 定員: 40名 講師: バラ園スタッフ

●7月22日(土) 10:00~12:00

ばらゼミ⑤つるバラ~からまりながら、ほどけながら。あなたを知りたい。

料金: 無料 定員: 40名

講師: 工藤 敏博さん ローズグローワーズ

●7月23日(日) 13:00~15:00 盆栽作りの楽しさ

料金: 無料 定員: 40名

講師: 吉川 茂さん 岩見沢樹石会

●7月30日(日) 13:00~15:00

バラ園のバラを染めてみよう・切り花を長く楽しもう

料金: 300円 定員: 40名

講師: 森 志郎さん 酪農学園大学

●8月6日(日) 13:00~15:00

折りバラを楽しもう 初級

料金: 無料 定員: 15名 講師: バラ園スタッフ